

民主党と共和党が合意した 2017 年度予算  
～エネルギー省～

NEDO ワシントン事務所  
2017 年 5 月 3 日

民主党議員と共和党議員が、総額 1 兆 700 億ドル<sup>1</sup>（年換算）の 2017 年度一括予算法案<sup>2</sup>で合意に達した。同一括予算法案は、下院及び上院の本会議で一両日中に可決され、現行の 2017 年度暫定予算継続法が期限切れとなる 2017 年 5 月 5 日の夜 12 時までにはトランプ大統領の署名を持って成立となる見通しである。

2017 年 3 月 16 日に 2018 年度の予算ブループリントを発表したトランプ大統領は、2017 年度予算に関しても、国防予算の増額と非国防関連プログラム予算の削減を要求していたが、民主党と共和党の協議者が合意した同予算法案では、国防省予算は 2016 年度ベース予算の 20 億ドル増の 5,161 億ドルにとどまる一方で、厚生省（28 億ドル増）、エネルギー省（10 億 2,900 万ドル増）、NASA（3 億 6,800 万ドル増）等、数省の予算を増額している。

## エネルギー省

### 1. エネルギー関連予算の全体像

2017 年度一括予算法案が定めるエネルギー省の 2017 年度全体予算は、2016 年度予算を 10 億 2,900 万ドル上回る 307 億 8,600 万ドル。DOE 総予算の約 36.6%にあたる 112 億 8,400 万ドルがエネルギー関連予算であり、残りは国家安全保障局（NNSA）や国防関連環境浄化プログラムといった国防核エネルギー活動や電力事業部（Power Marketing Administration）等に計上されている。

DOE のエネルギー関連予算である 112 億 8,400 万ドルは、2016 年度レベル比では 2 億 5,700 万ドルの増額となるものの、オバマ政権の 2017 年度要求額を 10 億 5,500 万ドル下回る数字となっている。革新技術ローン保証計画／先進自動車製造ローン（2016 年度比で 47.8%減）や海軍石油・オイルシェール備蓄（16.7%減）等の予算が削減されている一方で、エネルギー効率化・再生可能エネルギー（EERE）や配電・エネルギー信頼性、原子力科学技術や化石エネルギー R&D、科学や ARPA-E 等の予算が増額となっている。

<sup>1</sup> 海外作戦経費（Overseas Contingency Operations）を含めた総額は 1 兆 1,630 億ドル。

<sup>2</sup> 同法案は米国政府の自由裁量予算であり、社会保障、Medicare（高齢者医療保険）、Medicaid（低所得者医療扶助）等の義務的支出は含まれていない。

エネルギー関連予算の内訳

(単位：百万ドル)

	FY2016 予算	FY2017 前政権要求額	FY2017 両党合意案	FY2017 合意案 対 FY2016 予算
エネルギー効率化・再生可能エネルギー	2,073	2,898	2,090	17 増
配電・エネルギー信頼性	206	262	230	24 増
原子力科学技術	986	994	1,017	31 増
化石エネルギー-R&D	632	360	668	36 増
技術移転事務局	-	8	-	-
戦略石油備蓄	212	257	223	11 増
海軍石油・オイルシール備蓄	18	15	15	3 減
北東部家庭用灯油備蓄	8	7	7	1 減
エネルギー情報局 (EIA)	122	131	122	-
防衛以外の環境浄化	255	218	247	8 減
ウラン濃縮汚染除去・破棄基金	674	-	768	94 増
科学	5,350	5,572	5,392	42 増
ARPA-E	291	350	306	15 増
インディアンエネルギー計画	-	23	-	-
ローン/ローン保証計画	23	1,032	12	11 減
マネジメント関連	177	211	184	7 増
合計	11,027	12,339	11,284	257 増

(四捨五入につき合計は必ずしも一致しない)

2. エネルギー効率化・再生可能エネルギー (EERE) 予算の内訳

(単位：百万ドル)

	FY2016 予算	FY2017 前政権要求額	FY2017 両党合意案	FY2017 合意案 対 FY2016 予算
自動車技術 <sup>3</sup>	310	469	307	3 減
バイオエネルギー技術 <sup>4</sup>	225	279	205	20 減
水素・燃料電池技術	101	106	101	-
ソーラーエネルギー <sup>5</sup>	242	285	208	34 減

<sup>3</sup> クラス 8 の大型長距離トラックの更なる燃費改善を目標とする SuperTruck II プログラムに 2,000 万ドル、先進バッテリー開発に 4,200 万ドル。

<sup>4</sup> 藻類バイオ燃料に 3,000 万ドル。

<sup>5</sup> 集光型太陽熱発電 (CSP) に 5,500 万ドル。

風力エネルギー <sup>6</sup>	95	156	90	5 減
水力 <sup>7</sup>	70	80	84	14 増
地熱技術 <sup>8</sup>	71	100	70	1 減
先進製造技術 <sup>9</sup>	229	261	258	29 増
ビルディング技術 <sup>10</sup>	201	289	199	2 減
連邦エネルギー管理局	27	43	27	-
耐候化・政府間活動	265	326	278	13 増
プログラム指針、他	238	506	265	27 増

(四捨五入につき数値は必ずしも一致しない)

### 3. 配電及びエネルギー信頼性の予算内訳

(単位：百万ドル)

	FY2016 予算	FY2017 前政権要求額	FY2017 両党合意案	FY2017 合意案 対 FY2016 予算
クリーンエネルギーの送電・信頼性	39	30	36	3 減
スマートグリッド R&D <sup>11</sup>	35	30	50	15 増
エネルギー配給システム用サイバーセキュリティ <sup>12</sup>	62	46	62	-
エネルギー貯蔵	21	45	31	10 増
変圧器回復力と先端コンポーネント (Transformer Resilience and Advanced Components)	5	15	6	1 増

<sup>6</sup> 洋上風力先進技術実証プロジェクト (Offshore Wind Advanced Technology Demonstration Projects) に 4,000 万ドル、国立再生エネルギー研究所 (NREL) 内に設置された国立風力技術センターに 3,000 万ドル。

<sup>7</sup> 海洋・流体力学 (Marine & Hydrokinetic) 技術研究開発に 5,900 万ドル、先ごろアワード発表が行われたオープンウォーター波力試験施設 (Open Water Wave Energy Test Facility) の設計・調達・建設に 3,000 万ドル。

<sup>8</sup> 地熱技術の最優先イニシアティブである FORGE (Frontier Observatory for Research in Geothermal Energy) に 3,500 万ドル。

<sup>9</sup> 先進製造技術 R&D 施設に 1 億 5,050 万ドル。この内の 8,400 万ドルは、国防省との共同事業である America Makes、エイモス国立研究所内に設置された重要原料研究所 (Critical Materials Institute)、オークリッジ国立研究所内に設置された製造実証施設 (Manufacturing Demonstration Facility) 他のクリーンエネルギー製造イノベーション (Clean Energy Manufacturing Innovation =CEMI) 研究所へ配分。

<sup>10</sup> 新興技術 (Emerging Technologies) に 9,840 万ドル、設備・ビルディング基準に 5,400 万ドル。

<sup>11</sup> マイクログリッドとオンサイト発電の地域的実証に 1,500 万ドル。

<sup>12</sup> 産業規模の配電網テストベッドの開発に 900 万ドル、配電事業者や地方自治体電力の為にサイバー及びサイバーフィジカルな解決策の開発に 500 万ドル。

全米配電 (National Electricity Delivery)	8	7	8	-
州レベルの配電改革プログラム	-	15	-	-
インフラ安全確保とエネルギー復旧	9	18	9	-
州政府向けエネルギー信頼性・保証グラント	-	15	-	-
プログラム指針	28	29	29	1 増
グリッド研究所	-	14	-	-

(四捨五入につき数値は必ずしも一致しない)

#### 4. 化石エネルギー研究開発予算に含まれた石炭 R&D の予算内訳

(単位：百万ドル)

	FY2016 予算	FY2017 前政権要求額	FY2017 両党合意案	FY2017 合意案 対 FY2016 予算
炭素回収	101	109	101	-
炭素貯蔵 <sup>13</sup>	106	91	95	11 減
先進電力システム <sup>14</sup>	105	54	105	-
分野横断的研究 (Cross cutting research) <sup>15</sup>	50	59	46	4 減
国立エネルギー技術研究所 (NETL)の 石炭 R&D	53	35	53	-
STEP (超臨界二酸化炭素)	15	24	24	9 増
合計	430	372	424	6 減

(四捨五入につき数値は必ずしも一致しない)

<sup>13</sup> 先進貯蔵 R&D に 2,800 万ドル、炭素隔離科学に 1,200 万ドル、貯蔵インフラに 4,530 万ドル。

<sup>14</sup> ガス化システムズに 2,500 万ドル、先進空気分離 (Advanced Air Separation) 計画に 800 万ドル。

<sup>15</sup> 石炭資源利用科学に 2,000 万ドル、水管理 R&D に 980 万ドル。